

通しNo.	タイトル	撮影時期	撮影場所	時間	色	音	撮影内容(撮影対象を含む)
No.1	『あこがれの大島へ』	昭和11年6月6日	伊豆大島(大島町)	14:59	モノクロ		大島に親戚同士で旅行した時の記録。撮影者は33歳。踊るアンコさん、ラクダに乗る観光客、火口付近の茶屋などを写す。三原山の滑走台の場面では、ウィリアム・テルの『天国と地獄』のSPレコードをかけて上映していた。昭和10年に完成した滑走台は、戦時下の金属供出によって17年に解体された。
No.2	『上野動物園』	昭和11年頃	上野動物園	14:18	モノクロ		象、白熊、猿など。冒頭に右書きの「ウエノドゥツエン」というタイトル。撮影者は33歳。昭和20年5月の「山の手空襲」で青山の自宅が焼失。防空壕に入れていたフィルムと映写機は焼けなかった。疎開先の秩父の家で野外上映。集まった子どもたちは初めて見る動物園に見入っていた。提供者8歳の思い出。
No.3	『清坊の正月』	昭和12年正月	伊勢神宮、多度神社、旧霞ヶ浦競馬場(三重県)	10:43	モノクロ		伊勢神宮、多度神社への初詣。現在の霞ヶ浦球場で競馬観戦。撮影者は31歳。2歳になる長男のたどたどしい足取り。多度神社の参拝後、駅までの沿道の店で、きなこがまぶされた多度豆を買ってもらうのが楽しみ。正月の町は初売出しの風景。日本最短の路線「桑名電軌」が走る。空襲で焼けた、今はなき旭劇場の姿も。
No.4	『神鹿』	昭和12年5月30日	春日大社、若草山(奈良県)	7:18	モノクロ		桑名から奈良旅行。撮影者(提供者の伯父)は31歳。春日大社には袴姿の奈良女子高等師範学校の学生の姿も。公園で3歳の長男が鹿せんべいをあげている。時代は変わって昭和24年、中学3年の提供者は修学旅行で奈良へ。あいにくの雨。食糧事情も悪く、米は統制。米を各自で封筒に詰めて旅館に持参した記憶がある。
No.5	『天龍下れば』	昭和12年夏	大平峠(長野県)、天竜川	11:28	モノクロ		大平峠に旅行桑名に住む撮影者(提供者の伯父)は31歳。家族は写っていない。伊那の絶景の遊覧。提供者曰く、「伯父が友人と行ったのだろう。彼にとっては心入れの撮影だったと想像する。私(提供者)は舟に弱いので、せめて川岸からでも眺めたいと思った。よい作品が残ってよかった」。天竜川の川下り。
No.6	『ラジオ体操』	昭和16年夏	住吉神社(三重県)	7:28	モノクロ		撮影者(35歳)の長男が入学した国民学校には、国旗が掲揚され、二宮金次郎像が建っている。夏休みには揖斐川の畔の住吉神社でラジオ体操が行われた。当時は携帯ラジオもなく、大きな箱型ラジオを担ぎ、長いコードで電源を取っていた。提供者の回想によれば、現在のラジオ体操と比べ、きびきびとした軍国調であった。指導者の号令で勇ましい天突き体操もあった。 * 2019年の本映像公開時には昭和12年頃としていましたが、その後、昭和16年であることが判明しました。通し番号(No.)はそのままとしています。
No.7	『軍用犬』	昭和12年	親類宅周辺(三重県)	11:38	モノクロ		四日市市在住の撮影者(31歳)の叔父が軍用犬を訓練している。叔父は、妻、長男、長女の4人家族。撮影者の姪である提供者(4歳)は「当時の一家族あたりの子どもの数としては少なかった。映像に映る女兒はのちに保育士となった。戦争の影響もあってか、結婚せず独身を通された」と回想する。
No.8	『鉄橋工事』	昭和12年	多摩川橋梁か	7:42	モノクロ		鉄橋の建設工事。線路を走る機関車が映し出される場面も。電線を通したり、橋の上を歩く作業員。中央本線の多摩川橋梁を撮影したものではないかと推測される。詳細は不明。

No.9	『初春日記』	昭和13年頃正月	親類宅(宮坂)、宮の坂駅、世田谷八幡宮、靖国神社など	12:45	モノクロ/カラー	三が日の風景。1日目の靖国神社からの帰路では日の丸がはためく。2日目は愛国債権(国債)のお年玉が登場。撮影者の息子である提供者曰く、「アメリカに親戚がいたからカラーフィルムを入手できたのかもしれない。3日目の踊りの場面を鑑賞する際は『倅でかした』のSPレコードがかかっていた」。
No.10	『清吉海水浴』	昭和13年頃	富田浜(三重県)	11:39	モノクロ	海水浴を楽しむ一家。遠くには小さな船。撮影者(32歳)の長男(清吉)は海水にまだ馴れず、水打ち際で遊んでいる。数年後、撮影者の姪である提供者も海水浴に連れて行かれた。撮影者(伯父)に抱きかかえられ、深みに投げ込まれた。「夢中であえぎ、砂浜に上った。少し厳しい訓練に思えたが、このような訓練が上達につながるのだろう」。
No.11	『清ちゃん、白ブタ』	昭和16年	旧諸戸家農園(三重県)	11:51	モノクロ	子どもたちが旧諸戸家農園の豚小屋をのぞいている。農園の従業員が天びん棒を担いで物を運んでいる。鐘や太鼓を打ちならし、山車をひきながら練り歩く石取祭の風景も。太平洋戦争が始まり、今までの尋常小学校が国民学校と改められた年。フィルムに映る大きい男児と女児2人はこの年度より国民学校に入学した。
No.12	『経堂家族、雪景色、東京の町etc』	昭和29年1-3月	皇居、銀座(中央区)、日比谷(千代田区)、赤坂(港区)など	31:14	モノクロ	大雪に見舞われた東京の数日間の記録。雪降る前の日常。大雪をスコップでかく大人と、雪だるまや木製のスキーで遊ぶ子どもの姿。東京駅、銀座、除雪作業を行う車両、経堂駅前の靴磨きの風景など。都内のフリーマーケットで販売されていたフィルムをたまたま購入した提供者の持ち込みにより、本映像はデジタル化に至った。
No.13	『夫、兄、母』	昭和29年3月	原子爆弾落下中心地碑、大浦天主堂、長崎県内各所	14:23	モノクロ	詳細不明。旅行(帰省)の記録か。湯気が立ち上る温泉地。島鉄バスの停留所「木場(こば)」の看板。原爆資料館、大浦天主堂など。漁港にも立ち寄る。旅行靴と唐草模様の風呂敷。都内のフリーマーケットで販売されていたフィルムをたまたま購入した提供者の持ち込みにより、本映像はデジタル化に至った。
No.14	『川開き、智子誕生日、雪』	昭和30年5月5日、31年4月、32年2月中旬	隅田川、皇居、日光東照宮など	19:37	カラー	隅田川の川開きと花火。経堂の住宅街で遊ぶ子どもたち。背景に小田急線の車庫。皇居周辺の桜や柳の並木。路面電車やボンネットバス、ジープなど。路上で煙草をふかす歩行者。日光への旅行。都内のフリーマーケットで販売されていたフィルムをたまたま購入した提供者の持ち込みにより、本映像はデジタル化に至った。
No.15	『1957年7月』	昭和32年7-8月	明治神宮外苑、バンコク	7:57	カラー	子ども用プール「かっぱ天国」(神宮外苑絵画館前の角池)での遊泳。色とりどりの水着。賑わう様子。聖徳記念絵画館も映り込んでいる。場面は変わり、タイはバンコクのある自宅の庭。犬と猿がじゃれあう。都内のフリーマーケットで販売されていたフィルムをたまたま購入した提供者の持ち込みにより、本映像はデジタル化に至った。
No.16	『青山邸：おじいちゃん』	昭和33年4月19日	親類宅(代沢)	4:18	モノクロ	代沢の親類宅、空港(不明)など。隣家に提供者の祖父が住んでおり、時々遊びに行っていた。庭には藤棚や枇杷などが茂っていた(現存せず)。庭の横には井戸があり、夏には西瓜を縄で吊るし、冷やして食べた。当時子どもだった提供者は、井戸に落ちてしまわないかと気が気でなかったらしい。
No.17	『繁栄を謳歌する時代のアメリカン・ライフ』	昭和33年7-9月	ニューヨーク、ナイアガラの滝、ロサンゼルスなど	30:53	カラー	商社勤めの父親(40歳台)がアメリカに1年間赴任した時の記録。ヤンキースタジアム。ナイアガラの滝、コニーアイランド(海岸沿いの遊園地)。ロサンゼルスのマクドナルドのドライブイン、石油の採掘現場。プール付き邸宅でのホームパーティー。子どもだった提供者は父の帰国後にフィルムを観て、たしかに夢の国だと思っただろう。

No.18	『父の1日 伊知郎さつ影』	昭和34年6月	自宅(松原)	5:36	モノクロ	画家だった撮影者の父(明治5年生まれ)の一日を写す。井戸水での冷水摩擦から始まり、仏壇、神棚、お稲荷さんにお供えする。前日供えたご飯を庭のスズメに撒く。一日中和服。孫と挟み将棋で遊ぶ。絵を描く姿も。撮影者40歳。5人家族。家を壊す際に出てきたフィルムが捨てられず、今回のデジタル化に至る。
No.19	『桑名旅行』	昭和34年8月	自宅(三重県)	8:39	モノクロ	提供者が前年に出産した長女を連れて、実家の桑名へ初めて帰省する様子。特急つばめで名古屋まで行き、関西線に乗り換えて桑名の実家へ。翌日は夫(撮影者)とロープウェイ(当時は東洋一の高さ)で御在所岳へ。その後、提供者の伯父の材木店へ。材木置場、貯木場などを写す。遠景に揖斐川。大勢に見送られながら一路東京へ。
No.20	『長女運動会』	昭和34年頃	ゆかり文化幼稚園	3:51	モノクロ	幼稚園の運動会。提供者の父(36歳ごろ)による撮影。我が子の運動会になると夢中で撮影していたらしい。運動会のプログラムも映る。「今となってはどこに私がいるのか分かりませんが、当時は私の出場した種目を記録していました。私は蝶組だったような気がします…」。
No.21	『東京見物 親子4人』	昭和35年1月	皇居、東京タワー、祖父宅(代沢)、動物園(福岡県)	4:23	モノクロ	車窓から見える富士山、東京タワーなど。翌年の東京転勤を控え、家族4人(父45歳、母30歳、姉10歳、提供者5歳)で、福岡から東京見物に行った時の記録。新幹線の開通前で、映像は寝台特急からの風景。東京に転居してからも提供者の父は忙しく働いていた。家族4人で旅行したのは後にも先にもこの時だけ。
No.22	『保田臨海学校』	昭和35年7月27-30日	芝浦棧橋、保田(千葉県)、東京タワー	13:23	モノクロ	撮影者41歳。長女の通う小学校の夏休みの臨海学校に、PTA役員として同行した時の記録。甲州街道からバスに乗って港へ。撮影者は長女のクラスメイトを家に呼んで、みんなで観るのが楽しみだった。当時はTシャツやトレーナーではなく、母親の手作りだったという。1クラス50人、6クラス。団塊の世代。
No.23	『上野動物公園』	昭和35年10月23日	上野動物園	4:26	カラー	家族4人と祖母で行った時の記録。提供者は6歳、弟は1歳、撮影者の父は36歳。提供者の母の回想では「砧に住んでいて、買い物と言えば渋谷でした。交通の便が悪く、その帰りはだいたいタクシーを使いました。窓を開けていると、上町から砧の方に曲がるあたりで草の匂いがしてくるんです」。
No.24	『井の頭公園』	昭和35年11月27日	井の頭公園、多磨霊園、自宅(船橋)	12:35	モノクロ	井の頭公園やお墓参り、家での団欒を提供者の父(47歳)が記録。「逆再生で兄が消えたり、祖母が手品をしたり。お酒が好きだった祖父もここにはいる。父の手作りの麻雀牌でよく家族麻雀をやった。母の竹細工の花器を割って、セルロイドの下敷が貼られ、牌は手彫りの字や絵があつらえてあった」。
No.25	『正月から3月』	昭和36年1-3月	自宅(砧)	4:27	カラー	自宅の庭で氷を割って遊ぶ子どもの様子を提供者の父(37歳)が撮影。「冬になると氷がよく張った。登校中に霜柱を踏んだり、近所の池に張った氷に石を投げて割るのが楽しみだった(厚くて割れないことも)。同じ頃、自宅近くの商店街では、元傷痍軍人の方がたくさん働かれていた」。
No.26	『井の頭公園、功君大学入学時』	昭和36年4月	井の頭公園	4:03	モノクロ	親戚筋にあたる功君が大学進学のため上京。東京には不馴れなのでどこかへ一緒に出かけようということになり、夫が運転する自家用車ダットサンで井の頭公園へ。撮影は夫(29歳)と提供者(26歳)と功君(18歳)で代わり番こに撮影。象のはな子、孔雀など。2歳の長女も映る。
No.27	『向ヶ丘遊園』	昭和36年5月3日	向ヶ丘遊園	3:59	モノクロ	家族で向ヶ丘遊園地に出かけた時に提供者の父(47歳)が撮影。ロープウェイ、アトラクションに乗る姉と妹、カメ、ウォーターシュート、ステージ公演などを写す。8ミリカメラを購入したばかりだったので撮影するのが楽しかった頃。撮影者の会社が休みの日には家族そろってよく出かけていた。

No.28	『集ひ』	昭和36年5月11日	自宅(船橋)	10:15	モノクロ	友人を招いて自宅で開催していた踊りや食事会の様子。提供者の父(大正3年生まれ、46歳)が撮影。踊りの披露、手品などの出し物があった。「集いはたびたび開催されていて、一緒に海外旅行もしたほど仲が良かった。映像に登場する面や手品道具は、母が亡くなった時に処分してしまった」と提供者は回想する。
No.29	『京王プール』	昭和36年8月13日	京王遊園	8:03	カラー	京王プールで過ごした夏休みの一日。提供者の父(46歳)が、家族や母方の祖母、母の妹家族を連れて行った時に撮影。2015年、住み慣れた家を取り壊すことに。片付けをしていた時にフィルムを発見。解体直前の実家で上映会を実施した。提供者、提供者の兄、姉、妹が集まって鑑賞。これを契機に今回のデジタル化に至る。
No.30	『台湾からのとも来たりて、鎌倉・江ノ島をめぐる』	昭和36年8月13日	自宅(神奈川県)、鎌倉大仏など	4:25	モノクロ	自宅の風景。鶴岡八幡宮、大仏などの鎌倉巡り。撮影は、提供者の父(49歳、享年58歳)。父の友人が香港、台湾から来日した際に家族ともども、鎌倉・江の島を案内することに。観光バスに乗り、一日であちこち効率的に巡る。「新しいもの好きな父が、意気揚々と撮影に精を出したことが計り知れる」と提供者は語る。
No.31	『東京転勤』	昭和36年8月	自宅(福岡県)、自宅(上町)、横浜港	3:57	モノクロ	父親(撮影者)の転勤に伴い、提供者は小学校入学直前に福岡の大牟田から上町の社宅に転居。すぐ学校生活になじめたが、時々、自分のことを「うち」と方言で呼び、周囲を固まらせた。夏になると断水がよくあった。社宅には井戸があり、ご近所さんが汲みに来ていた。飼っているのはスピッツのエルちゃん。
No.32	『恵比寿』	昭和36年12月12日	自宅(渋谷区)	4:25	モノクロ	自宅やその周辺の散歩の様子を提供者の父が撮影。提供者が5歳の頃まで住んでいた家(父の実家)が映る。転居してからも休みの日はよく行っており、親戚が集まる場所だった。周囲は工場が建ち並び、個人商店も多かった。現在の街並みにその姿を見つけるのは難しいという。
No.33	『家ができるまで』	昭和36年	自宅(船橋)	8:12	モノクロ	提供者の父親(47歳)が、妻(提供者の母親)のために別棟を建てる様子を父自身が撮影。着工から竣工までが記録されている。上棟祝いのお酒の熨斗[のし]にご近所の名前があり、当時の地縁のあり方が垣間見える。昔ながらの板壁、漆喰の壁。今も提供者はこの家をリフォームして住んでいる。
No.34	『お宮参りなど』	昭和36年	烏山神社、蘆花恒春園、自宅(南烏山)	4:21	モノクロ	お宮参り、自宅の庭、路地など(二重撮り)。棟上げ式、烏山神社、自宅の庭、焚き火、舗装されていない土の路地など。一度撮影し、現像に出さずにもう一度撮影したと推測される。
No.35	『多摩川、向ヶ丘』	昭和36年頃	多摩川河岸、向ヶ丘遊園	1:45	カラー	多摩川のヨットや水遊び。その後は定番の向ヶ丘遊園。提供者の祖父がフィルムを回していた。映像に登場する虫取り網は、提供者が子どもだった頃も現役で使用されていた。提供者が生まれる前の映像のため、詳細は不明。
No.36	『区役所』	昭和36年頃	世田谷区役所、室内(不明)	3:50	モノクロ	提供者の祖父がフィルムを回していた。家で野球のグローブをはめているのは、提供者の父親。区役所の前で虫採り。自動車内から撮影しているが場所は不明。ダットサンがすれ違う。提供者が生まれる前の映像のため、詳細は不明。
No.37	『向ヶ丘、多摩川』	昭和36年頃	向ヶ丘遊園、多摩川河岸	3:48	カラー	向ヶ丘遊園の回転ブランコ、コーヒーカップ、ウォーターシュート、大階段など。母方の両親が住む熱海へ帰省。庭にはつつじがたくさん咲いている。そのうちの2本は、提供者が現在住んでいる世田谷の家に移された。多摩川での川遊び。水門が映る。提供者が生まれる前の映像のため、詳細は不明。□

No.38	『経堂佐竹家』	昭和37年1月1-5日	自宅(経堂)	8:12	モノクロ	瀟洒な邸宅と大きな庭。親子で遊ぶ姿。タイヤ遊びのシーンではスローモーション撮影にするなど、コミカルな演出も。正月に集まる親戚。庭の木にくりつけた大きなプランコが子どもに大人気。この邸宅は2015年に取り壊され、現存しない。
No.39	『大原海岸と圭子ちゃん』	昭和37年8月	大原の生家(千葉県)	8:16	カラー/モノクロ	夏休みに帰省した生家とその周辺。海女など。映像の提供者は千葉の大原で生まれ育つ。中学卒業と同時に家政婦として上京。いわゆる「金の卵」だった。お盆で提供者の実家に帰省した際に撮影。撮影は提供者の亡き夫。テロップを手作りするなど、細部へのこだわりが感じられる。
No.40	『帰省』	昭和37年8月	大原の生家(千葉県)、自宅(太子堂)	5:26	モノクロ	実家への帰省。分家だった生家近くの本家では山羊が飼われていた。世田谷の自宅アパートで幼い長女が食事する様子。夫の実家も世田谷区内にあり、夫の両親とは頻りに顔を合わせていた。テレビにオリンパスのカメラ「ペン」のCMが映る。池尻で住み込みの家政婦として働いていた提供者は、夫との結婚を機に家主の紹介でこのアパートに引っ越した。
No.41	『流鏝馬』	昭和37年9月16日	鎌倉鶴岡八幡宮	3:28	カラー	鎌倉鶴岡八幡宮で毎年9月に実施される例大祭での流鏝馬。中学時に提供者が参加した行列を父が撮影。多くの同級生も参加。提供者によれば、八幡宮の中の幼稚園で装束を着付けてもらったという。撮影者の父は貿易会社に勤めており、戦前・戦中には台湾や香港に駐在。5人兄弟のうち、台湾で生まれた提供者の兄姉(乳児2名)は、栄養失調のため引き揚げ船内で亡くなる。
No.42	『勝、1年、誕生日』	昭和37年10月2日	椿山荘	3:49	モノクロ	提供者の長男が1歳になることを祝い、誕生日会を開く。会場は、明治の元勳、山縣有朋の別荘だった椿山荘。撮影者(31歳)は当時、他の仕事に就いていたが、奇遇にものちに椿山荘に勤めることになる。場面は変わり、自宅のベランダにある滑り台で遊ぶ様子。姉が弟にミルクを与えている。
No.43	『彼岸』	昭和38年3月15日、4月4日	墓苑(西東京市)、船橋ヘルスセンター	4:08	モノクロ	田無へ墓参り。提供者曰く、「父の遺品整理でフィルムの処分を考えていた。この活動に出会えて中身が観れてよかった。私が生まれる前の映像のため、詳細は分からない。私の幼い頃の映像はなかった。両親が生きている間にもっと話をしたかった」。
No.44	『マサキ入学式』	昭和38年4月	経堂小学校、自宅(経堂)	4:27	モノクロ	経堂小学校の入学式。木造の校舎。周りに高い建物はない。提供者の回想では「入学式では一休さんの劇で新入生を歓迎してくれた」。子ども時代の思い出は、セスナで紙広告が配られたり、アドバルーンがあがっていたりしたこと。当時は自宅に外国人家族も仮住まいをしていた。自宅の庭でいっしょによく遊んだ。
No.45	『おでかけと帰省』	昭和38年4月22日、6月9日など	井の頭公園、向ヶ丘遊園、二子玉川園、自宅(太子堂)、大原の生家(千葉県)	25:11	カラー	井の頭公園駅の看板、井の頭公園、池の鯉、ボートなど。向ヶ丘遊園のロープウェイ、屋外テーブルでの食事、噴水、コーヒーカップなど。二子玉川園のローズガーデン。自宅アパート、白い犬を抱える提供者の長女。千葉の実家に帰省。釜で焚いていた風呂など。太子堂神社の七五三(長女3歳)。世田谷線の電車が見える。
No.46	『節句 和彦2年半 豊9ヶ月』	昭和38年5月5日	自宅(渋谷区)	4:24	モノクロ	路地裏で自転車で乗る。自宅の庭の鯉のぼり。提供者が5歳ごろまで住んでいた家の風景。飼っていた犬は代々、コロという名前をつけられていた。その後世田谷に転居し、北烏山で東京五輪のマラソンをじかに観たと提供者は振り返る。

No.47	『水遊び、登戸の梨もぎ』	昭和38年8-9月	自宅の庭(代田)、梨園(神奈川県)	4:17	モノクロ	自宅の庭のプールで水遊び。梨狩りの様子。提供者の長男(3歳)が手助けを受けながら、今まさに梨をもぎ取ろうという瞬間。提供者の子ども2人の水遊び。姉、弟ともに楽しそうに戯れている。クーラーもまだ普及していない時代。暑い最中は、庭の木陰にプールを出して水遊びするのが定番だったよう。
No.48	『No.1』	昭和38年11-12月	日比谷公園、会社寮(三宿)、銀巴里など	3:30	モノクロ	提供者が8ミリフィルムを始めた頃に撮影したもの。日比谷公園、有楽町のパチンコ店、三宿にあった会社の寮、シャンソンが聴ける喫茶「銀巴里」。撮影したフィルムをカメラ店で現像に出すと、約3日後には見れたという。勤めていた映画配給会社は忙しく、基本給ほどの残業代がついたこともよくあった。
No.49	『千葉県大原』	昭和38年頃	大原の生家(千葉県)	7:13	カラー	お盆の帰省、提供者の生家へ。大原駅前の商店街の様子。大原の港、船、サザエ。生家の本家では、山羊、豚、牛などが飼われていた。カメラを回す提供者の姿も。提供者は中学卒業後に家政婦として上京するが、恐怖感は無かったという。住み込み先の家に入入りしていた電気屋が、のちの夫となる。
No.50	『奥多摩秋川溪谷キャンプなど』	昭和39年9月-40年1月	奥多摩湖、中野新橋(中野区)、野沢稲荷神社、二子玉川園など	27:02	カラー/モノクロ	家族でのキャンプ(釣り、料理など)。場面は変わり、自宅の庭にて、たらいとじょうろで水遊び。夜の花火。場面は変わり、お正月。着物姿の子どもと初詣(野沢稲荷神社か)。背後に原水爆禁止の看板。中野新橋の芸妓の新年。野沢稲荷神社の祭礼、お神輿、デコレーションされた車。二子玉川園など。
No.51	『新幹線試乗』	昭和39年10月1日	新幹線車内(東京-新大阪間)	12:50	モノクロ	開業前の東海道新幹線の試乗。フィルムに映っているのは国鉄関係者や新幹線開発の要人たち。撮影者も新幹線開発に関わっていたため参加。時速メーターや電子レンジが食堂車に取り付けられている。「この日はよく覚えている。東京から大阪まで日帰りできるって考えられなかった」とは撮影者の妻の言葉。□
No.52	『駒沢オリンピック公園にて』	昭和39年10月12日	駒沢オリンピック公園	4:33	カラー	オリンピック開催中の駒沢公園の様子。提供者と長女を撮影する夫。赤いカバン。御料車[ごりょうしゃ]が会場に入っていく。ベンチに座ってみかんを食べる2人の外国人。アパートに帰宅後、戸田公園でのボート競技が放送されているテレビを直写し。このテレビは電機屋を営む撮影者が組み立てたもの。
No.53	『駒沢オリンピック』	昭和39年頃	駒沢オリンピック公園、鋸山(千葉県)など	4:02	カラー	クリケットの試合、会社の社員旅行など。行き先は千葉か。鋸山(のこぎりやま)らしき景色。場面は変わり、職場対抗と思われる野球の試合。戦後は電機会社に勤めていた提供者の祖父がフィルムを回している。提供者が生まれる前の映像のため、詳細は不明。
No.54	『子供No.4』	昭和39年頃	自宅(南烏山)、甲州街道、井の頭公園	31:43	カラー	子どもの成長記録。庭で三輪車に乗る提供者。垣根は竹。室内ではテレビや人形が映る。甲州街道で実業団のマラソンの見学。翌年に開催されたオリンピックのマラソンのテストでもあったらしい。井の頭自然文化園の乗り物。象のはな子。ちょうどこの頃、自邸の庭に樺[けやき]の木が植えられたことを提供者は覚えている。
No.55	『結婚式』	昭和40年5月	市ヶ谷会館	8:35	モノクロ	市ヶ谷会館での結婚式。撮影者は会社の同僚。ケーキ入刀。着物姿の花嫁。スピーチをする男性。仲人の挨拶。煙草をたくさん吸う男性。お互いの両親も映る。結婚式の後は当時人気だった熱海へ新幹線でそのまま向かった。ホームまで友人たちが見送りに来ている写真も残る。押し入れに眠っていた10巻のひとつ。

No.56	『改正商店街』	昭和40年初夏	巢鴨商店街、阿佐ヶ谷商店街、横須賀若松商店街など	8:15	モノクロ	商店街改築のための商店街視察。コンクリート造の若松商店街は当時としては珍しかったと推測される。撮影者は40歳代。提供者(撮影者の息子)曰く、「家業を継ぐのは当たり前前時代。オリンピックの前に道幅拡張工事で商店街全体がセットバックした。環七の道路の真ん中あたりに当時の店は建ってました」。
No.57	『幸枝、勝、七五三、羽根木公園』	昭和40年11月	明治神宮、羽根木公園	4:18	カラー	明治神宮での七五三。撮影者は提供者の夫(34歳)。提供者も着馴れない和服で参拝。長女は満7歳。長男は数え年で5歳だった。その後長男を和服に着替えさせ、自宅周辺で撮影(提供者みずから撮影)。かつては根津山と呼ばれていた羽根木公園で遊ぶ長男。左手にはおもちゃのダンブカー。
No.58	『子供No.5』	昭和40年頃	自宅(南烏山)、井の頭公園	30:53	カラー	子どもの成長記録。撮影者は35歳(昭和4年生まれ)。提供者曰く、「この家はもうない、柿の木が1本残っているだけ。私が中学生になる頃、井戸水から水道に変わった。すぐ抵抗があった。近所の家にはだいたい井戸があった。井戸端に洗濯機があった(ローラー2個)、脱水機は手動」。
No.59	『節分など』	昭和42年2月3日ほか	世田谷山観音寺、自宅周辺(野沢)、こどもの国	10:52	モノクロ	撮影は提供者の父。ランドセルをもらうシーンあり。「入り口」と小さな札がみえるのは、銭湯。当時、家族でよく行っていた。世田谷観音の節分。豆まき。砂糖、醤油と引き換えができる仕組み。雪で遊ぶ。雪だるまの目鼻は炭(たどん)。こどもの国でスケート。昼食に麺類を食べる。電車で帰る。
No.60	『誠2歳4ヶ月、由美6ヶ月』	昭和42年6月11-12日	用賀神社、江の島、横浜中華街、山下公園	4:21	モノクロ	提供者(撮影者)の父母が山梨の田舎から上京した際に、用賀神社に家族で参拝。父母と家族そろって訪れた江ノ島の片瀬海岸。横浜の中華街、山下公園、マリニタワーと船。自宅の前で自転車に乗っている長男。室内には生後6ヶ月の長女と親戚の子どもたち。
No.61	『富士ハイランド』	昭和42年8月5日	富士急ハイランド、富士科学館	4:20	カラー	家族旅行。提供者の妻がカメラを持っている。切符売り場、犬や猿、ライオンなどが芸を披露するショーやアトラクション。子どもたちは「ダッコちゃん」のイラスト入りの麦わら帽子を被っている。ミニチュアの富士山は当時の売りだった。富士科学館。アヒルにエサをあげる子どもたち。
No.62	『テルヒコ』	昭和42年	自宅(経堂)	4:06	カラー	撮影は提供者の父(新しいもの好き)。自宅に仮住まいするカナダ人家族の着物姿。自宅の庭の鉄棒(撮影者の自作)。撮影者みずから遊び、鉄棒がぐらつくシーンも。戦時中にはこの庭に防空壕が掘られており、戦後もしばらく残っていた。
No.63	『ドリームランドなど』	昭和42年頃	横浜ドリームランド、築地本願寺、玉電三軒茶屋駅周辺など	25:32	カラー	ドリームランド(遊園地)、観覧車、ロバ。昭和女子大学での運動会(幼稚園から高校生までの合同開催と推測される)。都電、帝国ホテル、玉電など。提供者の祖父がフィルムを回していた。提供者が生まれる前の映像のため、詳細は不明。劣化が進んでいて不鮮明な箇所が多い。
No.64	『理容店1』	昭和43年頃	湯河原、自宅(北沢)、芦ノ湖(神奈川県)	16:40	カラー/モノクロ	提供者の義母が営む下北沢の理容店の慰安旅行、路地、店内など。提供者曰く、「井の頭線、地下鉄銀座線と満員電車を乗り継ぎ、日本橋の会社に勤めていた。産前42日、産後42日の短い休暇。産休・育休を取得して本社勤務をつづけたのは私が第1号」。長男の保育園への送り迎えは、義母がしてくれた。
No.65	『消え行く玉電』	昭和44年2月-5月11日	池尻大橋、桜新町、三宿、三軒茶屋など	7:38	カラー	東急電鉄の運転士が非番の日に撮影した廃線直前の玉電。モーターゼーションの波が迫り、「ジャマ電」と揶揄されていた頃。木造の床面。花電車には「ながい間ご利用ありがとうございました」というお礼の言葉が。白い手袋をはめた職員が、陸橋のカメラ陣に向けて車内から手を振っている。

No.66	『理容店2』	昭和44年頃	江の島、理容店(北沢)	3:26	モノクロ		提供者の義母が営む理容店の社員旅行。中学卒業後、理容師の見習いとして遠方からやってきた子もいた。下北沢の路地も映る。夫とは昭和39年に結婚。特急電車に乗り、四国・九州にハネムーン(10日間)。同年、義父が他界。壮大な葬儀。商店街の牽引役だった。ショートした電柱に登って修理する姿を思い出す。
No.67	『ちかの運動会』	昭和45年5月31日	旭小学校	17:01	カラー/モノクロ		小学校の運動会。鉛筆で矢印を書き入れている競技に提供者が出場。撮影は提供者の父。木造校舎の校門前にお面と風車。売り物がどうかは不明。和服姿の高齢男性、カメラをもつ女性、犬を連れ歩く男性、敬老席。この頃は運動会用の足袋があった。校庭は砂ぼこりがひどかったと提供者は記憶している。
No.68	『お宮参り、自宅工事』	昭和45年-47年頃	万博記念公園、弦巻神社、自宅(世田谷)	23:02	カラー		大阪万博の様子。ドイツ館、ソビエト連邦館などを写す。神前式の結婚式、披露宴では手を打ちながら歌う様子、御茶ノ水の三楽病院で出産、お宮参り。自宅の解体作業。解体業者、大工が作業する姿。解体後の自宅の建設の様子。完成した新居。
No.69	『新百貨店落成式など』	昭和45年9月28日、55年8-9月	店舗(上馬)、伊豆(静岡県)、一碧湖(静岡県)	36:04	カラー	部分的に音あり	新装開店した金物・雑貨屋の落成式。招待客が宴会場の屋上に集まる。焼き鳥、おでん、ビールなどが振る舞われる。場面は変わり、戦友会、自宅の屋上でのプールなど。高速道路が見える。提供者の父は戦前に目立て屋(鋸などの目を研ぐ)として働き始め、台湾に出征し、終戦を迎える。戦後に大工道具の販売を始め、商売を大きくしていった。
No.70	『誠5歳9ヶ月、由美3歳11ヶ月』	昭和45年11月	自宅(用賀)、砧公園	4:32	カラー		提供者の子ども2人が通う幼稚園の運動会。砧公園での開催。3歳だった娘の身体は、他の子よりも大きかった。幼稚園の運動会なのに、たくさんの子もがいる。場面は変わって、自宅を掃除する娘と妻。平日に休みをとって記録していた。休みを取るのには難しかったと提供者は言う。
No.71	『Mr. Daisuke K』	昭和46年6月	実家とその周辺(品川区)	4:09	モノクロ		自宅で親戚とともに鍋を食べる一コマ。畳の上で着替えているのは撮影者の長男(6ヶ月)。子どもにおもちゃはあまり買わない主義で、子どもの目の前で手近なものを組み合わせながらおもちゃを作った。場面は変わって、妻の実家。品川は大井町の荏原神社の天王祭とそれを見る妻子を撮影。
No.72	『千寿子と慎君』	昭和47年4月29日、5月14日、9月23日、10月8日など	自宅(松原)、高幡不動、横浜港など	20:05	カラー		撮影者の実家へ。いとこと映る娘。明治26年生まれの撮影者の祖母も当時健在。場面は変わり、一家の住まい(団地、2DK)へ(お食い初めか)。屋外で娘が乗せられているのはトヨタのコロナハードトップのボンネット。墓参りのため横浜へ。提供者曰く、「日用品は団地内の店で揃った。ポンチョは専業主婦だった妻の手づくり」。□
No.73	『正月』	昭和48年1月-3月	自宅(経堂)、子どもの家幼稚園	4:30	カラー		自宅の庭で飼うニワトリ。撮影者に向かって手を振り続けながら、通学路を走る子ども。幼稚園の卒業式。教会の室内。幼稚園の校長は、かつての海軍経理学校の要職に就いていた。
No.74	『松陰神社、双葉園、雪の日』	昭和50年1月-2月	松陰神社、若林公園、向ヶ丘遊園	18:19	カラー		自宅前の路地で縄跳び。松陰神社への初詣(1月1日)。銀杏売り、お守りの販売、神社の境内、おみくじをくくりつける木、少ない参拝者。自宅前の路地で羽根つき。若林公園のブランコ。親戚宅で麻雀。巻き寿司。向ヶ丘遊園の竹馬、リフト、大階段など。雪の降る日に、自宅の前で雪だるまつくり。庭でのおままごと。
No.75	『春休み動物園』	昭和50年3月22日	上野動物園	9:56	カラー		たくさんの人で賑わう動物園の入り口。人混みの中を走る一台の軽自動車。鳩も多い。園内ではライオンやヒョウ、アライグマなどが映る。ミニ牧場ではエサやりやポニーに乗る様子など。パンタロンを履いている子どもの姿も。提供者の兄弟が色違いのプールバッグを使っている。

No.76	『No.5』	昭和54年8月15日-55年8月	富士山五合目、砧小学校、日本ランドなど	27:23	カラー		富士五合目にて家族でピクニック。旧日本ランドでの乗馬体験。自宅の団地(2K)で食卓を囲む様子。はしゃいでいる2人の子ども。ピアノを弾いている。深沢神社の節分。子どもたちと2匹の犬。撮影者の義父もいる。家の庭の雪で遊ぶ。砧小学校の運動会、伊豆サファリ公園など。
No.77	『野球』	昭和55年1月	自宅(梅丘)、羽根木公園	3:10	カラー		自宅室内にて親子で野球の練習。羽根木公園の階段。公園で野球の練習。撮影者の妻は自転車に乗る練習。当時の自転車にはチャイルドシートはなかったという。提供者の妻曰く、「買い物に行く時は子どもをおんぶしていた」。
No.78	『カタカタ遊び、美穂くみ子踊り』	昭和55-56年	自宅(上馬)、駒留八幡神社	14:42	カラー	部分的に音あり	自宅前の道路で遊ぶ。3歳離れている姉弟。道路は環七。道端でハイハイ。駒留八幡神社での七五三。その道中も撮影している。場面は変わって、踊りのお披露目会。親が見守る中、踊る子どもたち。
No.79	『田舎にて』	昭和55年8月中旬	南三陸町(宮城県)、南三陸金華山国定公園	9:46	カラー		帰省した際に撮影した家族アルバム。撮影者の家族(8人兄弟)、親戚などが映る。場面は変わり、堤防ができたばかりの南三陸の港。金華山の公園。小学校の校庭。家業は漁業だが、提供者は継がず、金の卵として上京。冒頭に映る家族アルバムは東日本大震災で流されて現存しない。港や住宅も甚大な被害を受けた。
No.80	『二子東急の映画の帰り』	昭和56年1月	自宅兼店舗(玉川)、二子玉川園	16:38	カラー		撮影者が営む蕎麦屋の店内。テレビには『太陽に吠えろ』が映っている。自宅の駐車場にはワゴン。牛乳やコーラなどの自動販売機が4台並ぶ。車のトランクに色々詰められている。場面は変わって二子玉川園。アトラクション、売店など。二子玉川園は商店街に加盟していたため、各店に招待券が配布されていた。
No.81	『お宮参りなど』	昭和56年5月	喜多見氷川神社	3:24	カラー		ベビーカーを押す撮影者の妻と氷川神社にお宮参り。鯉のぼりと日の丸。小田急線のロマンスカーが通過する。喜多見方面から成城への急勾配の坂道を、ベビーカーを押して登る2人。
No.82	『多摩川大風のあと』	昭和56年12月-57年8月	自宅兼店舗(玉川)、山梨県、多摩川など	20:15	カラー		蕎麦屋の大掃除、撮影者の長男、長女も手伝っている。場面は変わり、家族旅行。山梨でぶどう狩り。台風一過の多摩川。川が溢れている。出動している警察。場面は変わり、出前のバイクで長女と様子を見に来ている様子。兵庫島に停車していた自動車は水に浸かってしまった。
No.83	『餅つき』	昭和56年12月	喜多見	18:25	カラー	音あり	ご近所総出の餅つき大会。提供者の友人(30歳前後)が撮影。年末になると6-7世帯が集まり、餅つきを行っていた。子どもが大きくなり、また、区画整理に伴って半分以上の世帯が立ち退くことになり、この恒例行事もいつしか姿を消した。井戸だけは現存。 *本映像はVHSからのダビング映像です。
No.84	『ボロ市パレード』	昭和58年1月	世田谷代官屋敷、桜小学校	3:25	カラー		世田谷の「ボロ市」で行うパレード。学校の校庭にて代官行列の予行演習、パレード出発前の壮行式など。